

Julabo Case Study

JULABO PRESTO® A40

20Lのガラス反応器で
+100°Cから+170°Cに加熱



目的

本ケーススタディーは、20Lの真空断熱ガラス反応器で、ユラボPRESTO A40の昇温運転テストをしました。

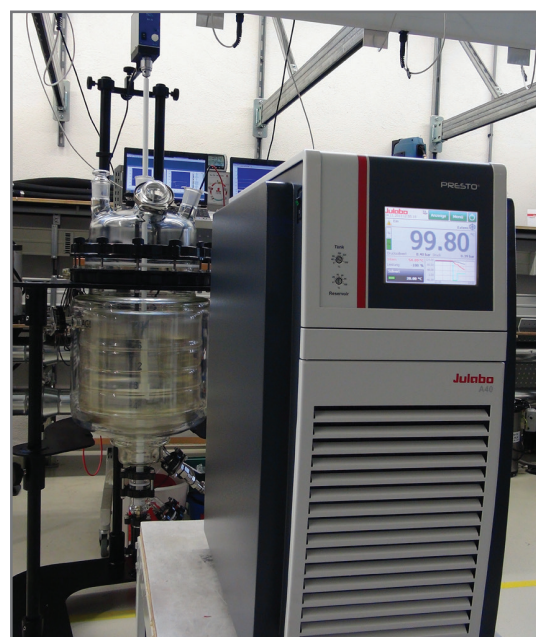
A40と20Lのガラス反応器は2.0mのメタルチューブで接続されています。
A40は+100°Cから+170°Cへ昇温運転するようにプログラムされています。

テスト条件

ユラボ装置	PRESTO A40
冷却能力	+20°C 1.2kW 0°C 0.9kW -20°C 0.6kW
加熱能力	2.7kW
バンドリミット	無
吐出圧	0.40bar
循環液	ユラボサーマルHL40
反応器	三重管の20Lガラス反応器 (Asahi) 18LのサーマルHL40を充填
ジャケット容量	7L
温度制御	外部温度制御 (ICC)

環境

室温	+20°C
湿度	45%
電源	230V/50Hz



テスト結果

次ページグラフ参照: A40はオーバーシュートすることなく
1時間15分で+100°Cから+170°Cへ昇温運転する事ができました。

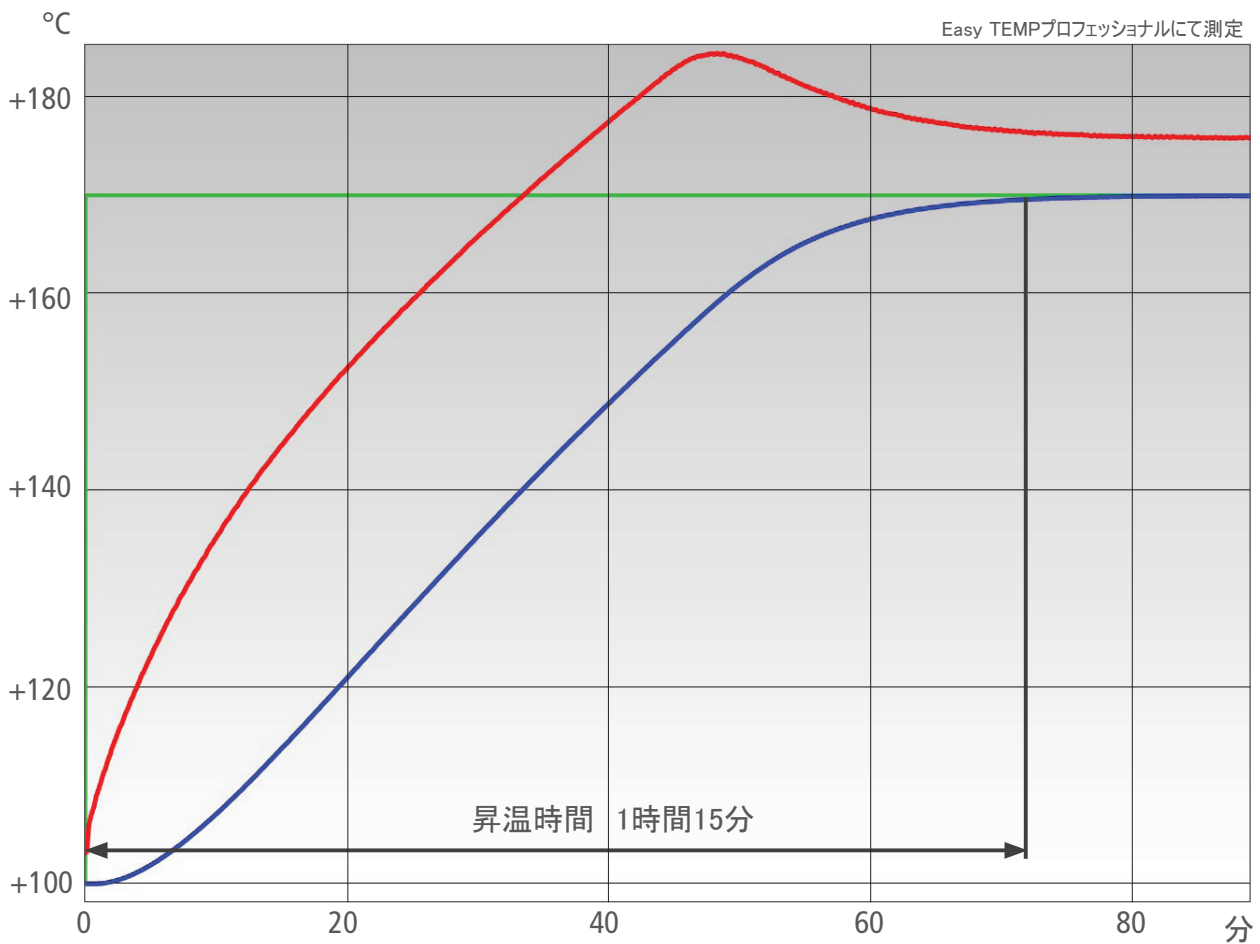
情報

PTFEコーティングされた
Pt100温度センサーが
使用可能です。

次のページにも
情報が載っています。



JULABO GmbH
Eisenbahnstraße 45
77960 Seelbach / Germany
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- 反応器内温度
- ジャケット温度

情報
 ポンプ圧力を調整する為のオプション画面があります。お客様にてポンプ圧力を設定する事が可能です。

The screenshot shows the 'Adjust pump' screen in the PREST software. It includes fields for 'Type' (set to Pressure Control), 'Pressure Setpoint' (0.50 bar), 'Meas. value source' (Internal), and 'Pump Mode' (Pump Auto).

情報
 PRESTOの全ての機能をイーサーネットインターフェースにて操作する事が可能です。

The screenshot shows the main control interface of the PRESTO system. A large digital display shows a temperature of 61.84°C. The background features a graph with multiple data series.

JULABO GmbH
 Eisenbahnstraße 45
 77960 Seelbach / Germany
 Tel. +49 (0) 7823 51-0